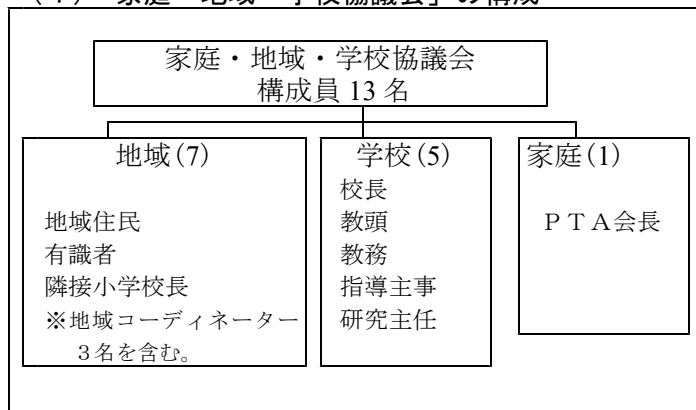


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

越前町立宮崎中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 第1回 5月15日
 - ・スクールプランについて
 - ・地域と進める体験について
 - ・情報交換
- 第2回 8月6日
 - ・中間報告について
 - ・2学期の取り組みについて
 - ・地域と進める体験について
- 第3回 1月10日
 - ・年間自己評価について
- 第4回 2月5日
 - ・学校関係者評価書報告について
 - ・来年度への提言

(3) 協議会における成果と課題

学校評価システムを通して、本校の良い点・改善すべき点を把握し、学校運営に生かすことができた。家庭や地域の教育に関する情報交換ができた。地域資源や地域人材を活用した教育活動が充実した。家庭や地域の抱える課題改善に向けて協議内容を深めていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が「宮崎地区」のよさを発信したり課題の改善について考えたりする活動を通して、ふるさとにほこりを持ち、新たな活力を生み出すことができるようにする。

(2) 活動の実際

①美しい田園風景を未来へ～「田んぼアート」の体験・観察（1年）～

宮崎地区では、住民が一丸となって農地・水・環境を守るための様々な活動を行っている。デザインした絵柄を表現する「田んぼアート」の取り組みは今年で12年目になる。1年生は、田植え体験、定期的な田の観察、「田んぼアート in 檜津」による講演、学校祭での写真展示を行い、宮崎の美しい田園風景を守り続けるための方策を考えた。



②宮崎地区の魅力を発信！～地域振興のあり方を考える（3年）～

3年生は、宮崎地区の魅力を発信する学習として、2年生時の職場体験でお世話になった商店や工務店等を宣伝するポスターや動画を制作した。さらに、地域振興のあり方を追究するために、「ハウステンボス」の黒字転換に貢献した人物（民間企業から県陶芸館・越前古窯博物館に派遣された職員）から、「客をよびこむ戦略の視点」「地域活性化に向けた企画立案」について学び、越前陶芸村に人を集めるアイデアとその根拠を語り合った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

各学年の企画に対して助言し、地域団体や人材をコーディネートした。学校評価に携わった。

(4) 特に工夫した事項

「家庭・地域・学校協議会」で、地域団体や地域人材をどのように活用するとよいかを話し合い、生徒の企画に生かすようにした。

(5) 成果と課題

地域資源や地域人材と関わる体験活動は、学校と地域との関係性を深化させ、宮崎地区への新たな気づきと地域振興への活力を生み出した。「宮崎の地域が好き」と答える生徒が91%に増加した。（昨年67%。）今後は、地域の諸問題に関する「課題発見力」、地域の歴史や未来へのさらなる「探究力」を育成することが課題である。そのために主体的な学びを促す単元構想を練っていききたい。